

50〜60代は資産運用への関心が急速に高まる年代だ。子供の教育費や住宅ローンの支払いを終え、やっとな老後の備えに着手する人や受け取った退職金を少しでも増やしたいという人は多い。ただシニアの運用にはいくつかの制約があり、慎重さが求められる。リタインの高望みなどは禁物だ。

最初の制約は時間だ。株式などの資産価格はたばび大きく下落するが、多くの場合、長期では右肩上がりでの水準を上回ってきた。しかし5〜10年程度では相場が回復しない場合がある(グラフA)。運用期間が相対的に短いシニアは損失を挽回する機会がないまま、運用を終えなければならぬ恐れがある。

二つめは資産防衛の比重が重くなる点だ。例えば株式中心で運用していて、相場下落と資産の取り崩し時期が運悪く重なると、資金計画は大きく狂いかねない。シニアなら、できるだけ資産を減らさない運用を心がけたい。

三つ目は軌道修正の難しさだ。収入が増えなかったり収入源が限られたりする退職世代などは、いったんポートフォリオ(資産構成)を決めると後で失敗したと思っても新規資金を投入して変更するのが難しい。

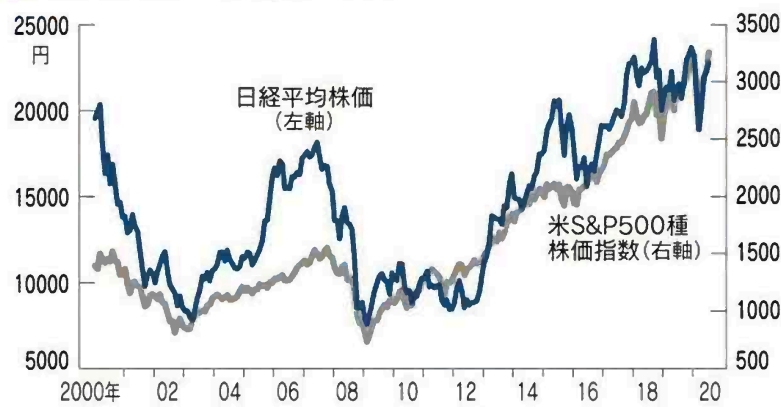
最も避けたいのが退職金の全額を一つの金融商品に投じることだ。運用成績が悪化すると売るにも売れず、資産が目減りをほう然と眺めているだけという事態になりかねない。

3つの制約を前提にどんな運用を心がければいいの

シニアの運用 高望み禁物

株式比率抑え資産分散

A 株価は長期では右肩上がりだが…



B 低リスク型の資産構成例(期待リターン2.7%)



(注)QUICK資産運用研究所が作成

C コロナショックから回復が早かったバランス型投信の例

ファンド名(運用会社)	純資産総額	実質信託報酬	5年リターン	5年標準偏差
投資のソムリエ(AMOne)	2213億円	1.5%	2.5%	2.9%
ラッセル・インベストメント・グローバル・バランス安定型	7	1.2	2.3	4.5
マイストーリー・株25(野村)	14	1.3	2.0	4.9
ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	873	2.0	1.4	3.7
ハッピーライフファンド・株25(野村)	8	1.4	1.9	4.9

(注)追加型バランス型投信(DC・ラップ専用などを除く)を対象に運用効率を計るシャープレシオ(5年)上位で、足元で基準価格が昨年来の高値を更新したファンドを抽出。リターン・リスクは年率、データは6月末時点

か。期間が相対的に短く守りも重視する場合、最も避けるべきなのはリスクの取り過ぎとリタインの高望み。対応策は長期投資の王道である資産の分散だ。

3分の1上限に
分散投資は資産全体に占める株式関連の比率をどう決めるかと、株式に他のど

な資産を組み合わせるかポイントになる。株式を運用の柱にするのは「超低金利の環境で他にリタインが期待できる資産が見当たらない」(独立系運用アドバイザーの吉井崇裕氏)からだ。そして株式と価格連動性が小さい他の資産を組み合わせ、株価の下落局面での資産の目減り

に投資するバランス型投信を購入するという選択肢もある。ただし同じバランス型でも株式の組み入れ比率によって、リスクは大きく変わる。リタインに少々物足りなさを感じても、運用の初心者なら低リスクのファンドを選ぶのが無難だ。

低リスクのバランス型のうち過去5年の運用効率がよく、今春の基準価格の急落からの立ち直りが早かったファンドを挙げたので参考にしたい(表C)。

今でもシニア層に一定の支持がある毎月分配型投信は長期保有に向かない。運用益を分配金として出すと、運用元本を膨らませてさら

に大きなリタインを上げる複利効果が薄れるためだ。

積み立てを活用

資産の構成や投資対象が決まったら、次は投信を購入する番だ。退職世代などは運用資金をいったん使い果たすとポートフォリオや商品の見直しなどが難しくなるので、買いうちにも慎重さが求められる。

大切なのは投資タイミングの分散、つまり積み立て投資の活用だ。例えば運用に回す資金が500万円あれば毎月20万円ずつ積み立てて、全額を投資するのに2年程度をかける。

積み立て投資は万能的投資法ではない。確実に利益が出るわけではないし、一括投資の方が有利になるケースも多い。それでも投資タイミングを計るといって難しい作業がなくなる分、精神的な負担は軽くなる。

また自身のリスク許容度や自分に適した投信選びなど運用では実践しなければわからないことが多い。初心者が体験を重ねながら、運用方針や投資対象などを軌道修正できるのも積み立て投資の利点だ。

できるだけお金の不安がない老後を送るにはシニア世代も運用と無縁ではいられない。資産運用の知識を深めながら腰を据えて取り組んでいきたい。

(QUICKリサーチ本部 主幹 北沢千秋)